



大学院 博士前期課程を紹介します

令和4年4月より、本学では大学院看護学専攻博士前期課程に実践者養成コースを新たに開設しました。本号では、各専攻の新入生の声を紹介します。



看護学専攻



実践者養成コース
での合同授業の様子

研究コース 横井 麻衣子

この春から保健医療学研究科の研究コースで研究の基礎を学び始めました。これまで、私自身看護師の経験を重ねるごとに見えてくる世界は変わってきました。しかし、臨床現場で起きている現象に対して“小さな引っ掛かりやもやもやしたこと”などすっかりしない疑問や課題が湧き出るようになってきました。このままではいけないと一念発起し、本学において研究的視点でそれらの疑問や課題を解明する力（知識）を付けたいと考えています。

実践者養成コース(助産学) 大西 玲奈

私は女性の一生を支えられるような助産師になりたいと思い本学の大学院に進学しました。本学は教員と学生の密接な関わりがあることで、一人ひとりが丁寧な指導を受けることができます。さらに、学内実習で使用する設備も整っているため、学習の場としての最適な環境といえます。また、学生同士は同じ目標に向けて切磋琢磨し高め合うことができます。これからも、自身の目指す助産師像に向けて努力していくことを考えています。

実践者養成コース(公衆衛生看護学) 神宮 梓・濱本 亜季

私たちは、大学院で様々なライフステージにおける地域住民に対する疾病予防・健康増進のための理論や制度、技術を学んでいます。大学院入学前、自分は勉強や研究に対する不安を感じていました。しかし、実際に大学院で学び始めると、教員からの指導や学生間で意見交換し素朴な疑問も解決出来るため、より深く学ぶことができています。課題や研究、実習等で大変な事はありますが、学生同士で協力してこれからも頑張っていきたいです。

臨床検査学専攻



↑ 安全キャビネットの中で菌を培地に塗っています。

↑ 大学院生の部屋があり、そこで研究ノートを書いたり、課題をしたりしています。



臨床検査学専攻 中川 準也

私は病原微生物学系研究室に所属し、緑膿菌の感染機構をテーマに日々研究をしています。1日のほとんどの時間は研究を行い、研究の間に授業を受けたり、ティーチング・アシスタントとして学生実習の手伝いをしたりするので、毎日忙しく、大学院生活に慣れるのに少し苦労しました。毎日大変ですが、実験での方法や結果で分からないことを先輩や指導教員の先生方に質問したり、考察を議論したりすることができ、充実した研究生活を送ることができています。

これから2年間多くの学びや発見を得られるように精進していきたいと思います。

保健医療学部 新入生の声

令和4年4月5日(火)入学式を開催しました。

看護学科1年 峰重 日奈多

入学当初は、大学に慣れることで精一杯だった私も、今では友達と楽しく学生生活を送っています。新型コロナウイルスの影響で授業が遠隔になったり、現地での実習がなくなったりするなど、学生が集合しての学習においては制限されることがありましたが、これからも仲間たちと切磋琢磨しながら日々の学習や実習に一生懸命取り組んでいきたいと思います。

看護学科1年 岸野 紗也加

大学に入学して4か月経ちましたが、選択科目の多さに驚きました。看護に関係のなさそうと思っていた学問でも自分の興味のある授業を受けてみると、どの授業でも将来看護師として働く上で大切な考え方や教養を身につけられたと思います。また、海の見える綺麗な大学で、分野別の実習室もあり、必要な道具や設備も実際に使われる物が揃っているのにより一層意欲的に取り組むことができ、充実した大学生活を送ることができています。



臨床検査学科1年 岩部 愛心

はじめての環境で慣れないことが多くありましたが、充実した前期を過ごすことができました。サークル活動や学外のボランティア活動にはあまり参加ができなかったため、今後は積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、学年が上がるにつれて専門科目が増えていくので、多くの知識を吸収し、さまざまな資格を取得していきたいです。

臨床検査学科1年 若木 碧央

大学に入学してから約4ヶ月経過してきて、高校生の時よりも『自由』の時間が沢山増えたように感じます。その分、課題や試験勉強、アルバイトなどすべきことも増え忙しい日々を送っています。家族や友人との時間も大切にしながら『計画的に行動をする』ことで、充実した生活を送りたいと思います。

国家試験合格状況・進路状況

進路支援委員長 舟越 和代

令和3年度の家試験は、看護師100%、保健師100%、助産師100%、臨床検査技師93.8%の合格状況でした。卒業生・修了生は、専門職として地域社会に貢献できるよう、一人ひとりが主体的に自分の適性に合った進路を選択できました。

《国家試験合格状況(令和3年度実施)》

	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
受験者数(人)	68	20	9	16
合格者数(人)	68	20	9	15
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	93.8
新卒者の全国平均(%)	96.5	93.0	99.7	86.4

国家試験合格、就職・進学おめでとう!!



《進路状況(令和3年度卒業生・修了生)》

(単位:人)

学 科	看護学科			臨床検査学科		助産学専攻科	
	看護師	保健師	その他	臨床検査技師	その他	助産師	
就職者数	県内	35	5	0	10	1	6
	県外	19	1	0	4	0	3
進学者数	8			1	0		
その他	1			0	0		
合 計	69			16	9		

オープンキャンパス

令和4年7月16日(土)

広報・公開講座委員長 吉本 知恵

2022年度オープンキャンパスは、感染対策を行いながら来学型とWeb型の併用で開催しました。看護学科・臨床検査学科の実習室を見学した参加者からは「専門的なことを学べることを実感した」、「さらに本学に興味をもった」、「施設が美しくて驚いた」などの感想をいただきました。最後に、参加者からの多くの質問に教員・在学生が回答し、このオープンキャンパスを通して、本学への関心を深めていただけたことと思います。



健康サポーター養成講座

令和4年8月5日(金)

看護学科3年生 金光 美瑠

健康サポーター養成講座では、学生が小グループに分かれて健康教育を行うためのテーマを設定しました。

その後、テーマを元に企画書・指導案の作成、健康教育に必要な媒体・物品の作成を行い、それらを用いて実際に健康教育を行いました。地域の方のためにグループで切磋琢磨して健康教育を行うため、大きな達成感を得ることもできると思います。ぜひ健康サポーター養成講座に参加して、健康教育を一緒に行ってみませんか？



いきいき健康広場(健康サポーター参加事業)

令和4年8月25日(木)

看護学科1年生 山崎 百夏



私は、「いきいき健康広場」で腹囲測定を担当しました。「最近運動できていないから心配や〜」や「前よりも太くなってそうで怖い」など地域の方々の方々の声を聞くことができ、貴重な経験ができたと感じています。

また、想像していたよりも多くの方が、自身の健康に関心があると知ることができました。今後、医療職に就くうえで、地域の方々の健康に興味・関心を持つことは大切な役割だと考えているので、実際に地域の方々関わったことは私の中で大きな経験となりました。

これからも健康サポーター養成講座をとおり、地域の方々に関わり、学びを深めていきたいです。

公開講座「健やかに生きよう」

令和4年8月25日(木)

広報・公開講座委員会

第1回公開講座を本学大講義室において開催し、30名の方に御参加いただきました。

講座は、看護学科 土岐弘美准教授「認知症とうまく付き合うために知っておきたいこと」、臨床検査学科 岡田仁教授「子供のがんと大人のがん」の2講座でした。

参加者の皆様には、身近な内容から少し専門的な内容まで、関心を持って聴講していただきました。



土岐先生



岡田先生

本学の授業・実習・学校生活の紹介については、大学HPにも掲載しています。ぜひご覧ください。 [大学HP > キャンパスライフ > 授業・実習・学校生活の紹介](#)



新 任 紹 介

看護学科教授（基礎看護学） 筒井 邦彦



本年4月より看護学科に着任しました。種々の疾患における病態の成り立ちを学生と一緒に考え、将来看護の実践に生かせるような学びができるよう努めたいと考えています。また看護の現場で役立つような携帯検査機器等の研究を進めたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

看護学科教授（精神看護学） 則包 和也



本年4月から看護学科に着任しました。心を看護することの魅力や奥深さを、学生に伝えていながら、相手の心に寄り添う看護の探求を進めていきたいと考えています。どうぞよろしく申し上げます。

看護学科教授（情報・統計学） 比江島 欣慎



治療やケア等の効果判定、疾病や事故等の発生要因の探索等、医療保健に関連する因果の問題解決に生物統計学によるデータ分析を通じて関わってきました。その経験を生かし、データ分析による真理探究の楽しさを学生等に伝えるだけでなく、医療保健分野や地域の発展に貢献できるよう努めてまいります。よろしく申し上げます。

看護学科助教（基礎看護学） 重兼 望



この度、基礎看護学の助教として着任しました。出身は愛媛で、看護師として岡山や香川の病院で働き、東京やオーストラリアで語学や看護の勉強をしてきました。大学院での学びはもちろんのこと、様々な地域や国で培った経験を、学生との関わりの中で生かせればと思っています。看護教員としても成長できるよう頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

看護学科助教（地域看護学） 藤村 保志花



本年4月から助教として着任いたしました。大学での勤務は初めてですが、昨年度まで香川県の保健師として勤務していましたので、これまでの現場経験を生かして教育や研究に取り組みたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

看護学科助教（在宅看護学） 渡邊 朱美



本年4月より在宅看護学領域の助教として着任いたしました。臨床経験を活かし、在宅看護学領域における看護の楽しさや面白さを学生とともに体感し、学びを共有できる教育支援をしていきたいと思います。また、在宅領域の研究を通して現場へ還元できる支援をおこなっていきたく思います。どうぞよろしく申し上げます。

お知らせ

◆ 公開講座

令和4年11月14日(月)

会場：香川県社会福祉総合センター

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって、中止する場合があります。

令和5年度 入学試験

◆ 大学院入試(看護学専攻・臨床検査学専攻)

令和4年10月29日(土)

◆ 学校推薦型選抜入試(看護学科・臨床検査学科)

令和4年12月10日(土)

◆ 一般選抜入試【前期日程】(看護学科・臨床検査学科)

令和5年2月25日(土)

◆ 一般選抜入試【後期日程】(看護学科)

令和5年3月12日(日)

◆ 一般選抜入試【追試験】(看護学科・臨床検査学科)

令和5年3月22日(水)

タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。



香川県立保健医療大学

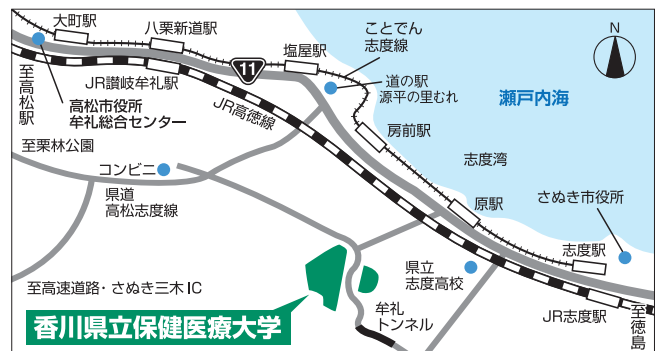
KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1

Tel: 087-870-1212 Fax: 087-870-1202

E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp

<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>



学校への経路

【西方面から】高松から車で30分
ことடன்志度線・原駅下車徒歩10分
高松東ICより車で10分

【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分
志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分